

IGFの意義・役割と機能について

2015年1月29日 IGCJ5

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部・インターネット推進部
奥谷泉



IGFについて

- **IGF全般とIGF 2014については第4回IGCJでご紹介しました。**
 - IGF2014レポート：
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/igconf/20141120/4-okutani.html>
- **おさらい**
 - WSISチュニスアジェンダに基づき、マルチステークホルダーによる政策対話のための会合として2006年から開催
 - 誰もが参加可能、プログラムは公募
 - マルチステークホルダー、対話重視、結果を拘束しない(Non-binding)
 - Multistakeholder Advisory Group(MAG)がプログラムを選考

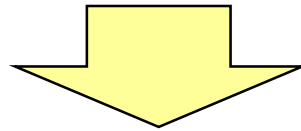
インターネットガバナンスにおけるIGFの位置づけ

- 「課題を包括的に扱う」「様々な立場の関係者グループが世界的に参加」「誰にでも参加が開かれている」唯一の定期開催の会議
- 「課題もあり完全ではない」としても、オープンなインターネットを支持する関係者は、政府中心の会議にこの場が移らないように「IGFの継続が必要」と見ている
- 2015年は12月の国連総会（WSIS10周年レビュー）に向けて、具体的な成果が問われる年
 - IGFの2度目の活動年限は2015年で終了
2015年以降の開催は2015年国連総会での決議次第

IGF 2015の特徴

成果を目に見えるかたちで示す必要性：

IGF 2014から続いている流れ



- **Inter-sessional Work**
 - 会議の場で単発で議論するのではなく、テーマごとにWGなどを立ち上げて議論し、課題に対する対応の議論を積み上げたうえでカンファレンスで議論する
- **IGF成果の周知**
 - 国連総会に向けた成果の周知
 - IGF 2015の結果を関係団体に能動的に周知

関係者が関わるモチベーション

- **インターネットガバナンスの大局を把握する場として利用**
 - 全体情勢把握、各種関係者グループの姿勢確認
- **政治、ビジネスの立場から影響を及ぼしたい**
 - 政府の役割・関わり方整理、政府間議論への牽制
 - アクセスやコンテンツの提供に関わるビジネス面で悪影響防止、世界的なビジネスチャンスの維持
- **理念についての主義主張の場**
 - 言論の自由、障害者支援、若者の参加促進など
- **正しい情報・状況を伝えたい**
 - コンテンツ規制、ローカル企業の保護策、IXPの運用、国防・法執行機関への協力に伴う留意点

現状の関わり方

- **本気の人々は、基本的にMAGの議論の段階から関わり、会議の方向性の議論を注視・関与**
 - MAGメンバー以外にも対面でのMAG会議にはICC/BASISなどのビジネスセクター、欧州委員会、欧州ccTLD関係者などの関係者グループも参加
- **地域・国別**
 - 米国は官民共にコミット：NTIA担当者、主要企業
 - 欧州は政府関係者が目立つがIXPやセキュリティ分野では技術コミュニティも積極的
 - アジア太平洋地域は中国、韓国、豪州は政府レベルで関与強化、インドネシアは政府・民間共活発
 - 日本は国やコミュニティとしてコミットしているようには見られていない

どう関わられるのか

- **Inter-sessional work : MAGメンバー以外でも誰もがテーマ選定の段階から議論に参加できる**
 - ML : http://intgovforum.org/mailman/listinfo/intersessional_2015_intgovforum.org
 - テーマが決まった後に興味のあるテーマに参加することも可能
 - 例：去年はテーマのひとつに「CERTの設立について」があり各CERTが積極的に参加、Spamに関するテーマでは規制側が多く参加、技術者の参加は限定的
- **セッションの応募**
 - 伝えたいことが明確にあれば
 - 登壇者の出身地域や性別のバランス等、独特の選定基準があるので、日本からのMAGメンバーとしてよければ相談に乗ることも可能です

(※選考の通過を保証するものではないですが)

どう関わられるのか：更に関わりたい方

- **誰でもMAGの議論を追うことは可能**
 - <http://www.intgovforum.org/cms/magabout>
- **MAGのMLのアーカイブは公開**
- **電話会議の議事録も公開されている**
- **MAGの対面会議には誰でも参加可能**
 - 但し、プログラムの選考はMAGメンバーが行う
 - 次回は5/20～5/22スイス・ジュネーブで開催予定
 - リモート参加も可能

現在の検討状況

- **テーマとサブテーマの検討**
 - テーマ案- The Evolution of Internet Governance: Empowering Sustainable Development
 - サブテーマ案 – (Cybersecurity and) Building Trust; Internet Economy; Inclusiveness and Diversity; Openness; Multistakeholder Cooperation; and Internet and Human Rights
- **Inter sessional workのテーマの公募(~2/2)**
 - 昨年の取組みから継続すべきテーマは？
 - 新たに追加すべきテーマは？
- **セッション企画募集近日開始予定(1月末予定)**

2014年12月に対面でのMAG会議を実施
その後2回電話会議を実施

ご意見を伺いたいこと

- 日本から、IGFにどう関わって行くのがよいと思いますか？もし関わりを深めるのであれば、IGFの場をどう活用し、どう貢献していくのがよいと思いますか？
- IGFについて現状の報告のあり方に加えてこういう情報がほしいとの要望はありますか？
- Inter sessional workに重点が置かれそうですがテーマや進め方へのご意見はありますか？
 - 意見募集中(2/2)のInter sessional workに関する質問
 - <http://www.intgovforum.org/cms/176-igf-2015/preparatory-process/2142-open-call-for-input-on-inter-sessional-work>
- IGF成果の周知先についてご提案・ご意見はありますか？

参考：

Inter sessional workのテーマ案

- **昨年のBest Practices Forum**

- 意義のあるマルチステークホルダーによる参加メカニズム
- 望まない通信に対する規制と回避(例：スパム)
- インターネットセキュリティのためのCERTの設立
 - ・ 支援
- ローカルコンテンツ発展のための環境作り
- オンライン児童保護

- **Dynamic Coalitionの活用**

- **新たなテーマ案の募集**

- ICTとジェンダー, インフラの発展/IXPs...など